



©1954 松竹株式会社

65th Anniversary Campaign

2019.

4.1 Mon - 7.31 Wed

日本映画全盛期の1950年代。その中において壺井栄原作『二十四の瞳』が監督木下恵介、主演高峰秀子で撮影され、1954年（昭和29年）に公開しました。当時、「文部大臣も泣いた!」という話が出るくらい、瞬く間に全国の人心を魅了することになります。終戦から9年という戦後復興から日本が歩む過程でまだまだ苦しく貧しい人、心に傷をもつ人達など多くの日本人の心に共感する作品として注目されたこの作品は現在まで10回も映像化されていることをみても日本人が大切にすべき魂が込められていると確信しています。

映画『二十四の瞳』公開65周年記念